



2026年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（非連結）

2025年8月1日

上場会社名 株式会社 ジーダット
コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 松尾 和利
(氏名) 伊藤 公哉

TEL 03-6262-8400

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	588	10.2	111	21.0	106	△5.8	76	△6.4
2025年3月期第1四半期	534	0.7	92	△2.8	113	△7.7	81	△18.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.86	—
2025年3月期第1四半期	21.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,533	3,516	77.6
2025年3月期	4,273	3,594	84.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,516百万円 2025年3月期 3,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の業績予想（2025年 4月 1日～2026年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	6.7	290	12.8	300	3.4	220	3.1	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	3,909,800 株	2025年3月期	3,909,800 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	60,472 株	2025年3月期	60,472 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	3,849,328 株	2025年3月期1Q	3,849,328 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におきまして、当社の主要顧客である半導体を含む電子部品業界では、前年度に引き続きAI関連分野は堅調に推移したものの、スマートフォン、パソコン、産業機械向けの半導体デバイスについては低迷が続きました。また、アメリカのトランプ政権による関税政策は、当初の世界を一変させるほどの影響はなくなりつつあるものの、それによる不透明感や景気減速感は継続しており、今後、世界経済にマイナスの影響を与えることが想定されます。特に我が国との交渉においては、結果次第では日本経済に多大な影響を与える可能性があります。

このような状況の中、当社は産官学との協力を強化し、アナログ半導体向けにAIを用いた設計の自動化に取り組み、設計環境の効率化を追求しております。2025年6月末には、フォトマスクの静電破壊検証の技術を実装した「SX-Meister PowerVolt(V19.0)」をリリースしました。この「SX-Meister PowerVolt(V19.0)」の機能追加により、マスク製造前にCADデータ上でフォトマスクの静電破壊のリスク検証を世界で初めて実現しました。これにより、製造コストのロスを大幅に削減でき、品質向上に大きく貢献することが期待できます。国内の販売促進活動においては、2025年4月に開催された「Photomask Japan 2025」に当社主力製品や代理販売製品を出展し、多くの来場顧客に製品紹介を行うことができ、商談につながりつつあります。デバイス設計受託サービスにおいては、顧客開拓活動を積極的に実施した結果、順調に業績に貢献しました。

こうした活動の結果、売上高は5億88百万円（前年同四半期比10.2%増）となり大きく増収となりました。営業利益も、人件費の増加はあるものの売上増による粗利増により1億11百万円（前年同四半期比21.0%増）と大きく増加しました。経常利益は、助成金の減少・為替差損等により、1億6百万円（前年同四半期比5.8%減）となり、四半期純利益は76百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して2億59百万円（6.1%）増加し45億33百万円となりました。内訳として流動資産は2億74百万円（8.8%）増加し33億82百万円、固定資産は15百万円（1.3%）減少し11億50百万円となりました。

流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が1億92百万円（7.6%）増加し27億38百万円となったこと及び、電子記録債権が51百万円（23.4%）増加し2億70百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、繰延税金資産が15百万円（27.1%）減少し41百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して3億37百万円（49.7%）増加し10億16百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して3億37百万円（49.9%）増加し10億12百万円、固定負債は前事業年度末と同額の3百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が2億82百万円（63.9%）増加し7億24百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は資産除去債務であります。

純資産は、前事業年度末と比較して77百万円（2.2%）減少し35億16百万円となりました。純資産が減少した要因は、利益剰余金の減少77百万円（3.9%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の84.1%から77.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表しました2026年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,545,775	2,738,608
受取手形及び売掛金	286,544	289,036
電子記録債権	219,190	270,471
仕掛品	2,029	1,783
原材料	603	2,374
その他	53,457	80,217
流動資産合計	3,107,601	3,382,492
固定資産		
有形固定資産	22,701	20,305
無形固定資産	14,589	12,977
投資その他の資産		
投資有価証券	132,121	127,889
繰延税金資産	56,639	41,287
長期預金	900,000	900,000
その他	39,719	48,114
投資その他の資産合計	1,128,480	1,117,291
固定資産合計	1,165,771	1,150,574
資産合計	4,273,372	4,533,067
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,768	63,795
未払法人税等	12,312	20,452
賞与引当金	94,220	49,800
前受金	441,958	724,535
その他	70,147	154,042
流動負債合計	675,407	1,012,625
固定負債		
資産除去債務	3,700	3,700
固定負債合計	3,700	3,700
負債合計	679,107	1,016,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,524	762,524
資本剰余金	893,443	893,443
利益剰余金	1,966,937	1,889,413
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,594,265	3,516,742
純資産合計	3,594,265	3,516,742
負債純資産合計	4,273,372	4,533,067

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	534,046	588,384
売上原価	181,785	195,534
売上総利益	352,261	392,849
販売費及び一般管理費	260,051	281,236
営業利益	92,210	111,612
営業外収益		
受取利息	5	1,997
為替差益	13,047	—
助成金収入	8,794	—
営業外収益合計	21,847	1,997
営業外費用		
為替差損	—	4,923
投資事業組合運用損	734	72
その他	—	1,832
営業外費用合計	734	6,827
経常利益	113,322	106,782
税引前四半期純利益	113,322	106,782
法人税、住民税及び事業税	6,730	14,980
法人税等調整額	24,916	15,351
法人税等合計	31,647	30,332
四半期純利益	81,675	76,449

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	6,905千円	5,853千円